音楽通し国際交流

豊橋ウインドアンサンブルの西谷伸二さん指揮で合同演奏する日独の団員たち

第9回日独交流「音のかけ橋コンサート」

両国吹奏楽団が見事な音色

第9回日独交流「音のかけ橋コンサート」は、29日午後2時からライフポートとよはしコンサートホールで開かれ、ドイツと豊橋の吹奏楽団が見事な音色を披露、合同演奏も行って音楽を通して国際交流を深めた。

豊橋市制90周年記念事業で始まった同コンサートは、世界共通語の音楽を交流の柱に豊橋の演奏団体が毎年参加、ドイツからは市民オーケストラが本場の演奏を披露している。

同日は、ビベラッハ市吹奏楽団（アンネ・オッテンバッハーホフ団長）の46人が出演した。同吹奏楽団は、1768年に設立されたビベラッハ音楽協会に所属している。

団員は18歳から68歳。指揮はアンドレアス・ウインタ氏。ウインタ氏は、同国で多くの市民楽団から指揮者として招かれる実力派で同音楽協会を率いる。

豊橋シュニテア吹奏楽団、豊橋ウインドアンサンブルの演奏に続いて、ビベラッハ市吹奏楽団がウインタ氏の指揮で「水上の音楽」「第3組曲（ヘンデル、スコットランド幻想曲「ネス湖」（J・ディメイ）、「京都の桜祭り」（H・モティ）を演奏した。

最後は、豊橋ウインドアンサンブルとの合同演奏で喜歌劇「軽騎兵」序曲（F・スッペ）と「たなばた」（酒井格）を演奏。会場は管楽器の豊かな音色に包まれ、大きな拍手が送られた。